

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【公開番号】特開2016-83263(P2016-83263A)

【公開日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2016-030

【出願番号】特願2014-218979(P2014-218979)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

遊技の進行を制御するメイン制御手段と、

払出し枚数データを記憶する第1記憶手段と、

払出し信号を外部に出力するためのデータを記憶する第2記憶手段と

を備え、

前記メイン制御手段は、

入賞した小役の払出し数が「Y（Yは、自然数。以下同じ。）」であるときは、第1記憶手段に「Y」のデータを記憶し、

第2記憶手段に記憶されているデータが「0」である状況下において、入賞した小役の払出し数が「Y」であるときは、「2×Y」のデータを第2記憶手段に記憶し、

第1記憶手段に記憶されているデータに対応する遊技媒体の払出し処理を実行し、

第2記憶手段に記憶されているデータを、所定時間が経過することによって減算し、

第2記憶手段に記憶されているデータが「2×n（nは、自然数。以下同じ。）」であるときは、払出し信号としてオンを示す信号を出力し、

第2記憶手段に記憶されているデータが「2×n-1」であるときは、払出し信号としてオフを示す信号を出力し、

第2記憶手段に記憶されているデータが「0」であるときは、払出し信号としてオフを示す信号を出力する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、遊技媒体の払出し信号を出力する遊技機に関するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0002】**

従来より、遊技機の一例であるスロットマシンでは、役の入賞時には、その役に対応する枚数のメダルが払い出される。メダルが払い出されると、払出し枚数分に相当する信号を外部に送信していた。その信号の送信は、たとえばオンとオフとを繰り返す処理を行うものであった。

**【手続補正4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0003】**

【特許文献1】特開2009-066171号公報

**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0004】**

本発明が解決しようとする課題は、遊技媒体の払出し信号を外部に出力する遊技機において、簡素な演算処理により、正確な払出し数を外部信号として出力可能にすることである。

**【手続補正6】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0005】**

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

本発明は、

遊技の進行を制御するメイン制御手段（メイン制御基板60）と、

払出し枚数データを記憶する第1記憶手段（RWM61中、アドレス「F06E」のメダル払出し枚数データ（\_NB\_PAY\_MEDAL））（図17）と、

払出し信号を外部に出力するためのデータを記憶する第2記憶手段（RWM61中、アドレス「F070」のメダル払出し信号出力回数（\_CT\_MEDAL\_OUT））（図17）とを備え、

前記メイン制御手段は、

入賞した小役の払出し数が「Y（Yは、自然数。以下同じ。）」であるときは、第1記憶手段に「Y」のデータを記憶し（図39のステップS65）、

第2記憶手段に記憶されているデータが「0」である状況下において、入賞した小役の払出し数が「Y」であるときは、「2×Y」のデータを第2記憶手段に記憶し（図63のステップS462）、

第1記憶手段に記憶されているデータに対応する遊技媒体の払出し処理を実行し（図63中、ステップS464～S473）、

第2記憶手段に記憶されているデータを、所定時間（46割込み、約100ms）が経過することによって（図72のステップS961で「Yes」のとき）減算し（図72中、ステップS967）、

第2記憶手段に記憶されているデータが「2×n（nは、自然数。以下同じ。）」であるときは、払出し信号としてオンを示す信号を出力し、

第2記憶手段に記憶されているデータが「 $2 \times n - 1$ 」であるときは、払い出し信号としてオフを示す信号を出力し、

第2記憶手段に記憶されているデータが「0」であるときは、払い出し信号としてオフを示す信号を出力する（図18、図72のステップS971）

ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、簡素な演算処理により、払い出し数に対応する数（払い出し数を2倍にした数）の払い出し信号を外部に正しく送信することができる。